

平成28年度
決算審査

28年度決算の認定について、決算審査特別委員会と企業会計決算審査特別委員会を設置し、適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているか、さらには、今後、改善を要する点は何かなどに主眼を置き審査を行った。主な内容は次のとおり。

決算審査特別委員会

【一般会計(歳入)】

質疑 順調に市税の収入率が上がっているが、取り組み内容は。

説明 納期内納付の推進に取り組みとともに、滞納繰越分についても、本人接触などの調査力を高め、速やかな滞納処分を執行した。

【一般会計(歳出)】

質疑 企業立地・定着促進拡大再投資補助金について、28年度の申請は3件であったが、ど

のような効果が出ているのか。

説明 市内の工業団地などに産業が集積し、市内総生産が増加した。また、雇用の拡大、固定資産税の増収などの効果が出ている。

質疑 市が管理する橋りょうのうち、耐震補強や長寿命化修繕、かけ替えなどが必要な橋りょうの数と整備の進捗は。

説明 市が管理する、1279の橋りょうのうち、災害時に二次的な被害が想定される重要度の高い橋りょう247橋を対象に長寿命化修繕工事を実施している。その中で、さら

に耐震化が必要な62橋の耐震補強工事を進めており、26橋の工事が完了している。現在、たちちにかける必要がある橋りょうはないが、今後は、全橋の点検結果を踏まえながら進めていく。



▲耐震補強工事を行った橋

質疑 28年度に完了した小中学校の構造体の耐震化には、特別教室や武道場なども含んでいるのか。また、照明などの落下防止についての状況は。

説明 学校施設の耐震化については、特別教室を含む校舎、武道場、体育館など、全ての施設の構造体の耐震化が完了している。照明などの非構造部材については、28年度中に全ての対応が完了したところである。

【一般会計(歳出)】

要望 安全性が確保できたが、今後は老朽施設の更新などについて引き続き計画的な対応を望む。



▲耐震化工事を行った校舎

【育英事業特別会計】
質疑 育英事業の貸付金収入が増え、一般会計

からの繰入金が皆減となっているがその要因は。

説明 納税催告センターによる電話催告や、訪問などのきめ細かな対応により徴収率が上がったことが大きな要因である。また、景気が若干

上向いたことで臨時償還が増えたことなども影響し、繰り入れが不要となった。

企業会計決算審査
特別委員会

【水道事業会計】

質疑 水道施設の耐震化について、取り組みの全体像は。

説明 水道施設再構築基本構想を定め、平成39年度までの取り組みとして高間木取水場や松田新田浄水場の耐震化を進め、平成40年代中頃までには、全ての重要施設の耐震化を完了する予定で取り組みを進めている。

【下水道事業会計】

質疑 平出工業団地内産業通りの道路冠水対策

のため、平出調整池改良工事を実施しているが、どのような整備効果が得られたのか。

また、今後、同地区内の雨水幹線の整備に向け、どのように取り組んでいくのか。

説明 調整池の容量を約6千立方メートル拡大し、1時間当たり20ミリメートル程度の降雨まで対応可能となり、道路冠水は改善された。今後は、調整池の効果を検証しながら、産業通り内での雨水管整備など、次の対策を検討していく。

【中央卸売市場事業会計】

質疑 取扱数量が減少しており、特に水産物部で大きく減少しているが、要因と今後の対策は。

説明 青果部については、ここ1、2年は天候不順のため取扱数量が減少しているが、取扱金額は25年度から増加しており、実質的には横ばい傾向である。今後は、商品

の品質保持などに向け、新たな冷蔵施設や屋根付きの荷さばき所を整備し、県内需要や東北地方への商品供給に対応することで、取扱数量を拡大していきたい。

水産物部については、国際的な漁獲の規制強化や鮮魚の不漁などから、安定して入荷できる商品が減少している。仲卸業者が求める商品を卸業者が仕入れることができる環境づくりを推進し、取扱数量の維持に努めていく。

【全般的な事項】

要望 各事業で施設や設備の老朽化が進んでいるため、今後も計画に基づき、改修費用の平準化を図りながら事業を進めてほしい。



▲水産物の初せりの様子